

3針日付表示ムーブメント

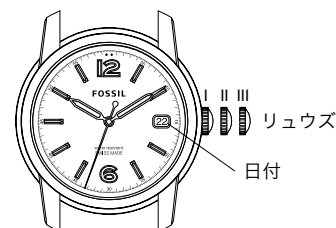
時刻の設定

1. リュウズをⅢの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計方向に回して時針と分針を設定します。
3. リュウズをⅠの位置に戻します。

日付の設定

1. リュウズをⅡの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに回して日付を設定します。
3. リュウズをⅠの位置に戻します。

午後10時から午前2時の間に日付を変更しないでください。ムーブメントの自動日付変更機能が作動しており、ムーブメントにダメージを与える可能性があります。



3針式 曜日/日付 ムーブメント

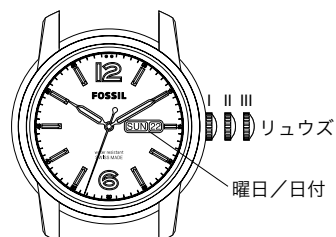
時刻の設定

1. リュウズをⅢの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに回して時針と分針を設定します。
3. リュウズをⅠの位置に戻します。

日付の設定

1. リュウズをⅡの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに回して日付を設定します。前日に合わせます。
3. リュウズを反時計回りに回して曜日を設定します。前日に合わせます。
4. リュウズをⅢの位置まで引き出します。
5. リュウズを時計回りに回して時針と分針を設定します。
6. リュウズをⅠの位置に戻します。

午後10時から午前2時の間に日付を変更しないでください。ムーブメントの自動日付変更機能が作動しており、ムーブメントにダメージを与える可能性があります。



アナデジ

オートマティック 3針式 日付 ムーブメント

ワインディング

Ⅰの位置にある時に、リュウズを約30回時計回りに回してください。これにより時計のぜんまいを動かします。自動巻き時計は、腕に装着している間は自動的にぜんまいが巻き上がります。時計のパワーリザーブは約38時間です。

時刻の設定

1. リュウズをⅢの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計方向に回して時針と分針を設定します。
3. リュウズをⅠの位置に戻します。

日付の設定

1. リュウズをⅡの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに回して日付を設定します。
3. リュウズをⅠの位置に戻します。

午後10時から午前2時の間に日付を変更しないでください。ムーブメントの自動日付変更機能が作動しており、ムーブメントにダメージを与える可能性があります。



マルチファンクション

クロノグラフモデル

時刻の設定

1. リュウズをIIIの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計方向に回して時針と分針を設定します。
3. リュウズをIの位置に戻します。

日付の設定

1. リュウズをIIの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに回して日付を設定します。
3. リュウズをIの位置に戻します。

クロノグラフ

- 6時の位置にあるクロノグラフカウンターが時間を計測します。
- 10時の位置にあるクロノグラフ分カウンターが30分単位で計測します。
- 中央ストップセコンドの秒針が一回転ごとに60秒を計測します

注意事項

クロノグラフを使用する前に次のことをご確認ください。

- リュウズがIの位置にあること。
- クロノグラフの3つの針が、Bボタンを押すと正確にゼロ位置に戻ることに戻らない場合は針の位置を調節する必要があります。「クロノグラフの針をゼロ位置に調節する」の項目を参照してください。

クロノグラフの基本機能（スタート/ストップ/リセット）

1. Aボタンを押すとクロノグラフがスタート/ストップします。
2. Bボタンを押すとクロノグラフのすべての針がゼロ位置にリセットされます。

クロノグラフ：中間・間隔計測

1. Aボタンを押すと中央の秒針がスタートします。
2. Bボタンを押すと中間・間隔計測が起動します。

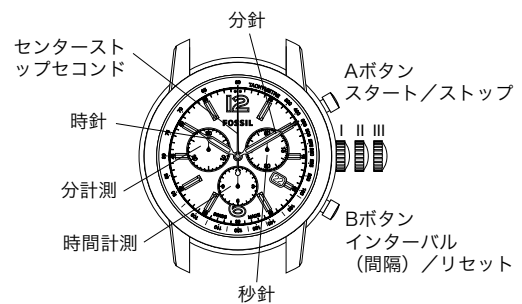
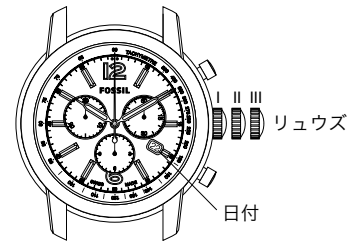
注意：クロノグラフの針は止まっていますが、ムーブメントは時間を計測し続けています。

3. もう一度Bボタンを押すと、クロノグラフのすべての針が瞬時に計測中の時間まで進みます。Bボタンを押すと、間隔の記録を続けます。
4. Aボタンを押すとクロノグラフが止まり、最終の時間を表示します。
5. Bボタンを押すと、すべてのクロノグラフがリセットされ、針がゼロの位置に戻ります。

クロノグラフの針をゼロの位置に調節する

1. リュウズをIIの位置まで引き出します。クロノグラフの3つの針が、ゼロの位置に戻ります。
2. AボタンとBボタンを同時に最低2秒間押すと、中央の秒針が360°回転し、補正モードが起動します。
3. Aボタンを押すと中央の秒針が1目盛進みます。Aボタンを長押しすると針を早く進めることができます。
4. Bボタンを押すとクロノグラフの時針の調整に進みます。
5. Aボタンを押すとクロノグラフの時針が1目盛進みます。Aボタンを長押しすると針を早く進めることができます。
6. Bボタンを押すとクロノグラフの分針の調整に進みます。
7. Aボタンを押すとクロノグラフの分針が1目盛進みます。Aボタンを長押しすると針を早く進めることができます。
8. リュウズをIの位置に戻します。

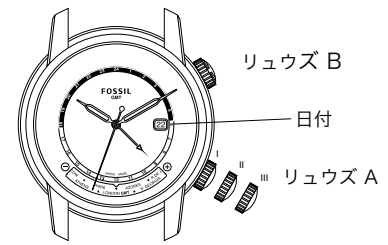
午後10時から午前2時の間に日付を変更しないでください。ムーブメントの自動日付変更機能が作動しており、ムーブメントにダメージを与える可能性があります。



GMTモデル

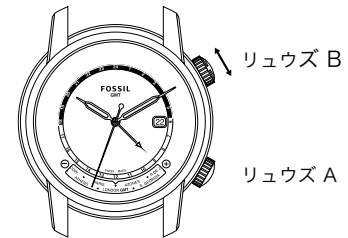
時刻・カレンダーの設定

1. リュウズAをIIの位置まで引き出します。
2. リュウズAを時計回りに回して、前日の日付に合わせます。
3. リュウズAをIIIの位置まで引き出します。
4. 現在の日付が表示されるまでリュウズAを時計回りに回します。そのままリュウズを回し続けて、正しい午前・午後の時刻を設定します。
5. リュウズAをIの位置に戻します。



デュアルタイムゾーンの設定

1. リュウズBを時計回りまたは反時計回りに回して、都市の盤面のローカルタイムゾーンを合わせます。
2. ローカルタイムゾーンとの時差を考慮しながら、リュウズBを回して希望のセカンドタイムゾーンを設定します。1回押すと1時間です。時間の前進または後退は、ダイヤルの+/-のサインで表示されます。ダイヤルの+/-サインのそれぞれの色に対応した表示は、リュウズBにあります。
3. リュウズAをIIの位置まで引き出します。
4. リュウズAを反時計回りに回して、セカンドタイムゾーン針を設定します。
5. リュウズAをIの位置に戻します。



注意: セカンドタイムゾーン針は6時の位置の24時間表示ウィンドウで表示されます。

その他

防水機能

すべてのFossilウォッチは、最低でも5気圧 (165ft/50m) 以上の防水機能を備えています。

この防水機能は、ムーブメントをほこり、湿気から保護し、浸水による故障を防ぎます。

防水機能一覧表を参照の上、各モデルの防水レベルをご確認ください。

Fossilウォッチが水に濡れている場合、リューズの調節はお避けください。水分がケース内に浸入し、故障の原因となります。

ねじ込み式リューズ付きのFossilウォッチの場合は、水と接触する前に、リューズがしっかりとねじ込み固定されていることを確認してください。

クロノグラフ機能付きのFossilウォッチの場合、水中ではクロノグラフを操作しないでください。水がケース内に侵入して故障の原因となります。

防水機能について

表示				仕様目的			
	---			汗雨	※1 手洗い 水しぶき	水泳など	スイング・ビュッ (ボタンなし)
1	30M	100 FEET	3 ATM	可	不可	不可	不可
2	50M	165 FEET	5 ATM	可	可	不可	不可
3	100M	330 FEET	10 ATM	可	可	※2 可	不可
4	200M	660 FEET	20 ATM	可	可	可	可

◆ 50M/165FEET/5ATM 防水は洗顔、手洗い等、日常生活における多少の水しぶきに耐えられる防水特性を備えております。

使用時は下記にご注意下さい。

- リューズは常に通常位置に設定してください。
- 温水はパッキンを変質させて浸水原因になりますので、シャワー・お風呂(サウナを含む)等でのご使用はお避けください。
- クロノグラフ(ストップウォッチ)及びボタン機能付きの時計を水中に使用されますと水圧により浸水することがありますので、水中でのボタン操作はお避けください。

※1 蛇口およびシャワーの水流は、100M/330FEET/10ATM以上の圧力がかかる事がございますので、洗顔や手洗いの際はお気を付け下さい。

※2 100M/330FEET/10ATMの防水は、水泳可能ですが使用状況によって浸水する可能性がありますのでご注意ください。

お取り扱い上の注意

- 水中ではボタン操作、時刻合わせ、ベゼルを回転させるなどの動作は行わないでください。また時計が塩水に浸かった場合は使用後、必ず真水ですすいでください。
- 風呂、サウナ内での着用、および放置はおさげください。高温と湿度(水分)が組み合わさることにより、防水機能に支障が生じる場合があります。
- PM8：00から翌AM3：00までの間に針の逆回りや日付の調整を行うことはお避けください。構造上、時計の作動にダメージを与える場合があります。
- 携帯電話、パソコン、テレビ、オーディオ機器、磁気プレスなど、強い磁気に近づけますと進み遅れの原因となりますので、ご注意ください。
- 化学薬品、ガス(シンナー、ベンジン等)に時計が触れないようご注意ください。
- -5℃以下、+50℃以上の温度下に放置すると、時計本体およびデジタル表示部分の機能が低下する場合があります。
- 革、金属かぶれ、アレルギー
 - ◇ ケース、バンドは直接肌に接しています。汚れたままにしておくとしみじみ衣類の袖口を汚したり、皮膚の弱い方はかぶれる場合もありますので、常に清潔にしてご使用ください。
 - ◇ 万一、肌などに異常が生じた場合は、直ちに着用を中止し、医師にご相談ください。
- 日常のお手入れ
 - ◇ 革バンドは乾いた布などで水分を吸い取るように拭いてください。こすると色落ちしたり、つやが失われたりするおそれがあります。
 - ◇ 金属バンドは柔らかい歯ブラシなどを使い石鹸水で部分洗いをするなどのお手入れをときどき行ってください。非防水の時計の場合には時計本体(ケース部分)に水がかからないようご注意ください。また、洗浄後は駒の隙間に水分が残っている場合がありますので、通気性のよい所で十分乾燥させてください。
 - ◇ ケース、バンドについた汚れ、汗、水分などは錆の原因になりますので、吸湿性のよい柔らかい布などで拭き取ってください。
 - ◇ ウレタンやプラスチック素材のバンドは特に手入れの必要はありませんが、汚れのひどいときは石鹸水で洗ってください。素材の性質上、通常数年使用すると硬化したり、色が褪せたりする場合がありますので、その際はバンド交換を行ってください。
- 電池は時計から取り出さないでください。取り出した場合には幼児の手が届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。電池が切れたまま長期間放置すると漏液などで故障の原因となることがありますので、お早めに交換をご依頼ください。